

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	335.1	敬老の日祝い事業	会計	01	一般会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		項	02	老人福祉費
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	目	01	老人福祉総務費
			細目	101	老人福祉一般事業
			細々目	01	老人福祉一般経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	伊賀市の最高齢者 米寿(88歳) 白寿(99歳) 100歳以上の方	成果(どうなるのか)	敬老の日に祝品を支給することにより、長寿をお祝いし、感謝の気持ちを伝え、激励する。
	本年度事業内容	●敬老の日祝い事業 伊賀市の最高齢者、100歳以上の方、白寿、米寿の方にそれぞれ祝品を支給する。		
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

①投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)
		0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,500	2,520	2,520
	消耗品費	2,500	2,520	2,520
合計(A+B)		3,220	3,240	3,240
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	3,220	3,240	3,240
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
百歳以上の方	人	29	32	45			
白寿	人	19	31	30			
米寿	人	510	354	360			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者数	本事業の全ての対象者を訪問しお祝いすることで、生きがいをもって生活してもらう。	人	558 目標 (-)	417	435
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ・国においては、100歳以上の方に祝品を支給することとなっているので、伊賀市からの祝品と併せて支給を行っている。 ・平成17年度については、該当者に対して羽毛布団等を支給した。 ・祝品については、毎年協議しながら、高齢者等が実際に使ってもらいやすい品物を選定している。
--

評価	必要性	4	敬老の日の制定については、長い間、社会のためにつくしてきた高齢者を敬い、長寿を祝うとともに、高齢者の福祉について関心を深め、そして、高齢者が生活の向上に努めるよう促すという気持ちが込められている。ついては、この趣旨に乗っ取り、伊賀市としても継続して実施していく必要がある。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	4		
	効率性	3		